

所属・氏名（総合リハビリテーション学部 リハビリテーション支援学科 氏名：山田 哲生）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (報告・発表) 加圧導電性ゴムを用いた感覚 フィードバック装置 ～模擬筋電義手による作業能 力の評価実験～		2008 年 5 月	第 15 回日本義肢装 具士協会学術大会 (仙台) -他業種から学ぶ適 合のあり方-	筋電義手はモーターを駆動させることにより把 持動作を行っている。よって、健常者や能動義 手の使用者とは異なり体性感覚を用いていな い。体性感覚を用いてないことにより筋電義手 の使用者は習熟に5～6年必要とされている。そ こで、我々は筋電義手に体性感覚の代わりとなる センサー(加圧導電性ゴム)を取り付け、刺激にお いては閾値などの問題の少ない光を用いた感覚 のフィードバック装置を開発した。 また、その装置を用いて感覚のある場合と無い 場合における、作業の習熟度を検証し、優位性 を検証し、新たな動作の獲得における体性感覚 の必要性を立証した研究を発表した。